

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（経営者）	・年末に向けて宴会需要が若干増えてきている。まだ眠っている需要の掘り起こしも考えられるので、景気は上向く。
	やや良くなる	百貨店（営業担当）	・景気の底打ち感はないが、寒い冬が予想されるので、衣料品を中心に消費が動く。
		スーパー（企画担当）	・製造業の景気回復が徐々に見えている。商圏に製造業従事者が多く、年末賞与も多少アップすることが想定されるため、歳末商戦での売上向上が期待できる。
		衣料品専門店（経営者）	・今月に入って本格的に冬物衣料が売れている。購入単価が上がってきていることから、消費者の購買力にはまだまだ余力がある。
		衣料品専門店（経営者）	・客の衝動買いが、単価にかかわらず出てきており、高額商品への期待が高まってきた。生活にある程度の余裕が出てきているからと思われる。2、3か月先に期待できる。
		衣料品専門店（店員）	・買い控えをしていた客の動きが出てきたことをかなり感じる。ただ単価的にはかなり厳しく、もともと景気など関係なくお金を持った方の購買はさほど変わらないが、大方は単価の低いもので枚数を売るといった戦い方は今後も変わらない。3か月後はセール商戦の真っ只中であり今よりももう少し売上の的には大きくなることを期待している。
		衣料品専門店（総務担当）	・ヤング婦人服と宝飾品の中高級品がコンスタントに売れている。ミセス婦人服の売上もやや戻りつつある。
		タクシー運転手	・ボーナス時期の買物や、年始のバーゲン等で人の動きが少しは活発になる。
		観光名所（職員）	・ゴルフ場は業界全体で7割程度客数が落ち込んでいるが、好天の影響もあり、昨年に比べ確実に客数が増えている。2、3か月後もこの兆候は続くと思われる。単価は低価格のまま推移する。
		設計事務所（所長）	・当社や同業者に引き合いや企画、計画の持込みが若干増えており、景気は良くなる。
変わらない	商店街（代表者）	・来街者が少なく、空き店舗がそのままになっている。商店街から離れた客が、なかなか戻ってこない。	
	百貨店（営業担当）	・友の会お買物券の回収額が減少している。金を年末のお買物に確保しているようである。期首からの厳しい状況は変わらず今後も続く。	
	スーパー（店長）	・競合店が次々にできるなかで、客数が少しずつ低下している。ただし購入の仕方や購入の量は3か月前とほとんど変わっていない。この傾向は今後も続く。	
	スーパー（店長）	・競合が非常に厳しくなり、販売量が減っている。ナショナルブランドのディスカウント時の価格が、かつての100円均一程度から、88円、78円と低くなっている。単価が上がらないことを懸念している。	
	スーパー（店長）	・客数は若干増えているが、客単価が今一つ伸びない。売れる商品もお買い得商品や特売商品で、それ以外の商品が売れにくい状況である。	
	コンビニ（販売促進担当）	・11月からクリスマスケーキの本格的予約の活動に入る。ケーキに関しては前年比をクリアすると思われる。一方もちに関しては、国内米のもち米が不足し、中国米100%という商品もあるため、中国米だったらいらぬというチェーンも出てきており、前年を割ることが懸念される。	
	衣料品専門店（店長）	・良くなりそうだという、条件が見当たらない。低い水準でこのまま推移する。	
	乗用車販売店（販売担当）	・単価の動きと来客数の動きがここ1年くらい変わらないので、今後ともこの流れで行く。	
	観光型ホテル（スタッフ）	・お客様の様子を見ても、確実に景気が良くなっているとの確信がもてない。	
	タクシー運転手	・ボーナスは前年度よりもいいと言われているので、買物客がいくらか増える。しかし、現在のところ夜の客の財布のひもは堅く、今後もこの傾向は続く。	
やや悪くなる	商店街（代表者）	・空き店舗の増加が目立ち、さらに来街者の減少傾向が続く。	
	百貨店（売場担当）	・12月に競合店がオープンするため、ここ2、3か月は厳しい状況になる。	
	百貨店（業務担当）	・企業業績は回復しつつあるが、まだ個人消費の回復には結びついていない。年末にかけて苦しい商戦が予想される。	

		百貨店（営業企画担当）	・近隣の大型商業施設のオープン景気は、2、3か月続くと 思われ、当店への影響も続くとみられる。景気は底を打った といわれるが、消費の低迷は依然として続いている。
		スーパー（経理担当）	・当社主要商圏での競合店の出店が加速している。今後は厳 しくなる。
		通信会社（企画担当）	・事業の大幅な見直しを行わない限り、競争力のある大手他 社に対しての劣勢は覆らない。
	悪くなる	百貨店（売場主任）	・客数、単価共に減少傾向にある。この傾向はますます強ま る。
		乗用車販売店（経営者）	・年末のボーナスが出ない人、リストラで職業を失っている 人もあり、購買としては上がらない。
		通信会社（業務担当）	・新規契約需要が伸び悩む中、10月より携帯電話買換え優遇 価格適用のサイクルが6か月から12か月に伸びた。次世代携 帯電話への移行もまだ需要が高まらないことにより、買換え 販売台数が大きく減少する。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・年末年始関係の生産に入るため、若干は伸びてくる。居酒 屋関連も少しずつではあるが伸びてきているので期待した い。
		農林水産業（従業者）	・海外からのピーマン等の輸入が減少し、国内産の価格が安 定するのではとの見方が強まっている。
		家具製造業（従業者）	・3か月先の物件情報もかなり入って来ている。家具業界は かなり淘汰が進んだ上に、多少物件が増加傾向にあるため、 仕事の量はかなり増加している。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・半導体関連のリードフレームはやや動きが出ている。不確 実ではあるが、今後上昇気流に乗ってくると予想される。
		広告代理店（従業者）	・地元球団優勝の経済効果がしばらく続く見込みで、市場は 明るさを見せている。この傾向は今後も続く。
	変わらない	農林水産業（従業者）	・買い控えはあるものの、ある程度の購買力はある。低いな がらもある程度の購買は継続する。
		食料品製造業（経営者）	・納入先の情報では、客数は前年よりやや減少傾向であるも の、客単価が上昇しているため売上は微増とのことである。 ただ、客単価は客層により大きく変動するため、不安要素 は依然として根強く、楽観的な見通しとはならない。
		窯業・土石製品製造業 （経営者）	・焼き物業界は今が一番ピークの状態であるが、昨年と同様 でこの先この業界が上向きに転ずるとの見通しは立たない。
		電気機械器具製造業 （経営者）	・新規部門である保育園、カルチャーセンター等の一般の部 門は良くなっていくと確信している。製造部門の半導体は若 干良くなると思われるが、新規部門の塩ビパイプ加工で苦戦 をしているため、プラスマイナスゼロである。
	精密機械器具製造業 （経営者）	・確かに受注量が増えてきているが、現状では価格アップは 考えにくい。若干材料関係が今までより交渉に応じにくく なっており、価格のアップが考えられない状況である。	
	輸送業（総務担当）	・今月は冬物衣料に動きがあった。ただ先月がほとんど動き がなかったので一時的なものと考える。合成樹脂や半導体等 その他の品物に関してはあまり動きに変化がない。	
	不動産業（従業者） 経営コンサルタント	・賃貸物件において賃料水準の回復はまだ望めない。 ・仕組み作り、組織作りをやっている店はそれなりに体力が ついて、効率が上がり機動力が良くなる。全般的に悪くは なっていないが、変わらない。	
	やや悪くなる	鉄鋼業（経営者）	・原料価格が再び上昇基調にある。また、物流費が大幅に アップする中で需要の減退による減産継続で採算は厳しくな るようである。
		一般機械器具製造業 （経営者）	・客先から具体的な話は聞けないが、金型の相当数が中国に 流れているようである。やはり価格競争に勝たないと厳しい 情勢が続く。
		輸送用機械器具製造業 （営業担当）	・海外生産への移行により、やや悪くなる。
	悪くなる		
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・派遣への新規登録者の中で、就業中の人数及び割合が増え たようである。もし、就業者が以前より増えているのであれ ば所得者の人数が増えるため、若干ではあるが景気は良くな る。
		職業安定所（職員）	・求人数が9か月対前年を上回り、有効求人倍率も上昇傾向 で推移している。この傾向は今後も続く。

	職業安定所（職員）	・ 製造業においてデジタルカメラや半導体生産等が好調であり、今後についても商業福祉施設の進出や大型の設備投資が計画されている。景気は良くなる。
変わらない	人材派遣会社（社員）	・ 景気が上向いてきているという報道があるが、実感として具体的な動きは感じない。このままの状態では変わらない。
	職業安定所（職員）	・ 求人数は前年比増加傾向にあるが、その規模としては、欠員補充程度のものである。
やや悪くなる		
悪くなる	-	-